

災害協定

▶ 大規模災害時の臨床検査薬供給に関する協定書締結について

平成7年1月17日に発生した阪神・淡路大震災以後、今日に至るまでわが国は、平成23年の東日本大震災、平成28年の熊本地震の二度の大きな震災を経験しました。今後想定される南海トラフ巨大地震でも甚大な被害が予測されております。

予てより当連合会は、地域社会貢献活動の一環として「大規模災害時の臨床検査薬等の供給に関する協定書」の締結を進めてまいりました。震災のみならず異常気象などによる厳しい自然災害の増加に伴い、臨床検査診断薬の緊急時供給体制の必要性、重要性は一層深まっております。

協定書締結は現在も多数の自治体と交渉中です。また、臨床検査技師会などの団体からの協力申し出もあり、当連合会の活動はますます注目されつつあります。

今後とも当連合会は、地域貢献活動として多くの自治体と「災害時の臨床検査薬供給に関する協定書」を締結できるよう努力をしていく所存でございます。

連合会概要

設立年月日	平成24年11月15日
所在地	〒101-0047 東京都千代田区内神田2-7-13 山手ビル3号館 6階
電話	03-6206-4391
Fax	03-6206-4392
Mail	office@jccrw.org
ホームページ	https://www.jccrw.org

【アクセス】

JR線 「神田駅」下車徒歩2分
東京メトロ銀座線 「神田駅」下車徒歩4分
東京メトロ丸ノ内線・半蔵門線 「大手町駅」下車徒歩6分



一般社団法人日本臨床検査薬卸連合会

検査がつくる明日の健康、
みんなの笑顔



ご挨拶

一般社団法人日本臨床検査薬卸連合会の前身、日本臨床検査薬卸協議会は平成2年11月に臨床検査薬の適正かつ安定的供給を担う卸売企業を会員として組織され発足した団体です。平成24年に一般社団法人として再出発を果たしました。医療供給体制の一翼として重要な役割を果たすよう、医療の社会的ニーズや医療技術の進展に対応しながら、卸機能の流通近代化、合理化に積極的に取り組み、社会的地位の向上を目指して、最善を尽くしてまいっている所存でございます。臨床検査薬は、医療の中であって、疾病の診断、治療行為の経過観察、寛解期の判定等、幅広く活用されています。近年では疾病の予防的診断にも用いられるようになり、臨床医の治療行為をより効果的に推進し、患者さんの早期治癒による、社会復帰のスピードアップにも貢献しています。これらのことから、臨床検査薬は診療行為の方向性を定める重要な役割を担っているために、以下のような商品特性を有しております。

1. 商品の社会性、公共性が極めて高い
2. 商品の流通には、大半の臨床検査薬はその精度、再現性を保ち、品質の安定を必要とされる製品であるために、2～8℃の温度管理を必要とします。
3. 医療従事者が臨床検査薬を使用するにあたっては、厳しい精度管理と検査システムの管理を実施するための、情報提供活動を必要とします。そのため、臨床検査薬は製造・仕入れ・保管・配送・使用管理等、薬事法を中心とした厳しい法的規制下におかれております。

私たちは社会的地位の向上や、安定的供給を担保するために、品質の有効性・安全性を確保することはもとより、業に携わる者としての企業倫理の徹底と、CSRの積極的な推進を図り、関係省庁、関係団体のご協力を得ながら医療業界の一員として、英知を結集して取り組む覚悟でございます。これからも、皆様方のご支援とご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

私たちについて

1. 平成2年11月9日 任意団体 日本臨床検査薬卸協議会結成まで

昭和60年(1985年)に薬事法の改正があり、相当数の臨床検査薬が『体外診断用医薬品』と位置づけられました。医薬品としてクローズアップされた臨床検査薬の市場競争は、激化の一途を辿ってきました。

平成元年(1989年)4月より施行された消費税の円滑なる転嫁及び納税のため、臨床検査薬業界では全国統一步調の機運が高まり協議を重ねました。

平成元年(1989年)9月、全国を北海道、東北、甲信越、関東、中部、近畿、中四国、九州の8地区に分け、各地区の臨床検査薬卸協議会が発足しました。

平成2年(1990年)11月9日、東京にて臨床検査薬卸売販売業者117社の参加の下、日本臨床検査薬卸協議会設立総会を開催するに至りました。

2. 平成24年11月15日 一般社団法人 日本臨床検査薬卸連合会設立まで

平成2年(1990年)11月、任意団体 日本臨床検査薬卸協議会結成後、臨床検査薬の市場は拡大し、医療機器システムの販売を加えると設立同時1800億円であった臨床検査薬の生産量が、20年後には4000億円を超える規模にまで達しました。

平成24年(2012年)11月15日、日本臨床検査薬卸協議会は総会の決議を経て新法人を設立し、一般社団法人日本臨床検査薬卸連合会としてスタートいたしました。

臨床検査薬・機器の流通・サービスのグローバルスタンダード化と技術革新が進み、他の業界にも増して、一層の流通近代化、効率化、安全性の確保、情報管理体制の整備、医療機関への経営効率化の提案等、ビジネススキームの多様化が必要とされ、流通業としての、信頼性を求められる時代に呼応した形です。

役員名簿

令和7年6月現在

(一社) 日本臨床検査薬卸連合会
令和6-7年度理事会役員一覧

役職	役員名	社名	ブロック名
会長	中村 和彦	京都和光純薬(株)	近畿
副会長	小関 恭秀	(株)小関秀雄商店	東北
//	竹内 和彦	竹内化学(株)	近畿
//	堤 隆一郎	堤化学(株)	九州
//	菅谷 哲彦	伊勢久(株)	中部
理事・顧問	渡辺 和俊	(株)関薬	近畿
//	広瀬 勇	広瀬化学薬品(株)	近畿
理事	佐伯 聡	(株)フロンティア・サイエンス	北海道
//	上田 哲平	(株)上田五兵衛商店	近畿
//	大西 利郎	アズサイエンス(株)	関東甲信越
//	小野 誠	東北化学薬品(株)	東北
//	富田 真一	(株)カーフ	中部
//	稲垣 静	(株)日栄東海	関東甲信越
//	岸 隆博	家田化学薬品(株)	関東甲信越
//	木村 洋介	広島和光(株)	中国四国
//	中澤 大	利根化学(株)	関東甲信越
//	橋本 信二	化研テクノ(株)	中国四国
//	山田 宣博	正晃(株)	九州
//	笠 邦太郎	サツマ薬品(株)	九州
監事	細谷 博昭	中山商事(株)	関東甲信越
//	徳永 道義	(株)テクノ・スズタ	九州

災害協定_ 締結地区一覧

令和7年2月現在

「大規模災害時の臨床検査薬供給に関する協定書」
締結地区

No	締結年	締結月日	締結都道府県 または団体名	連合会名
1	平成25年	5月13日	和歌山県	近畿臨床検査薬卸連合会
2	平成26年	6月2日	福井県	//
3	平成27年	4月1日	大阪府	//
4	平成27年	5月21日	滋賀県	//
5	平成27年	7月1日	奈良県	//
6	平成27年	7月1日	京都府	//
7	平成28年	3月7日	広島県	中国四国臨床検査薬卸連合会
8	平成28年	3月10日	徳島県	//
9	平成30年	3月26日	熊本県臨床検査技師会	九州臨床検査薬卸連合会
10	令和1年	10月25日	山梨県	関東甲信越臨床検査薬卸連合会
11	令和1年	11月1日	三重県臨床検査技師会	中部臨床検査薬卸連合会
12	令和2年	10月23日	群馬県	関東甲信越臨床検査薬卸連合会
13	令和5年	8月9日	兵庫県臨床検査技師会	近畿臨床検査薬卸連合会
14 20	令和6年	10月1日	九州7県の臨床検査技師会	九州臨床検査薬卸連合会
21	令和6年	11月19日	徳島県臨床検査技師会	中国四国臨床検査薬卸連合会
22	令和6年	12月28日	青森県臨床検査技師会	東北臨床検査薬卸連合会

賛助会員紹介

※ 五十音順

アーフレイマーケティング 株式会社
株式会社 アトレータ
アボット ジャパン 合同会社
栄研化学 株式会社
オーソ・クリニカル・ダイアグノスティックス 株式会社
株式会社 カイノス
関東化学 株式会社
キヤノンメディカルダイアグノスティックス 株式会社
極東製薬工業 株式会社
シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス 株式会社
シスメックス 株式会社
株式会社 シノテスト
島津ダイアグノスティクス株式会社

積水メディカル 株式会社
デンカ 株式会社
ニッターボーメディカル 株式会社
日本メディポート 株式会社
PHC 株式会社
バイオメリュー・ジャパン 株式会社
富士フイルム和光純薬 株式会社
富士レビオ 株式会社
ベックマン・コールター 株式会社
株式会社 堀場製作所
ライカマイクロシステムズ 株式会社
ロシュ・ダイアグノスティックス 株式会社

会員紹介

中部臨床検査薬卸連合会	
会 員 名	代表取締役
伊勢久株式会社	高木謙太郎
株式会社カーフ	水野 厚正
中北薬品株式会社	中北 馨介
並木薬品株式会社	居塚 敬祐
株式会社片岡	藤井 寛之

東北臨床検査薬卸連合会	
会 員 名	代表取締役
東北化学薬品株式会社	東 康之
純正化学株式会社東北支店	森崎 功一
仙台和光純薬株式会社	太田 三郎
株式会社中央科学	宇佐美 真
株式会社小関秀雄商店	小関 恭秀

北海道臨床検査薬卸連合会	
会 員 名	代表取締役
大槻理化学株式会社	田中 伸一
株式会社タナカ	本阿弥 孝
北海道和光純薬株式会社	横沢 龍朗
アクテック株式会社	上林 貢
株式会社フロンティア・サイエンス	佐伯 聡

中国四国臨床検査薬卸連合会	
会 員 名	代表取締役
広島和光株式会社	木村 洋介
山本薬品株式会社	山本 浩司
株式会社宮田薬品	宮田 宗一
鳥取サイエンス株式会社	梅田 重徳
株式会社林薬品	林 千佳子
化研テクノ株式会社	市川 真一
日進商事株式会社	山下 修一
アルフレッサ篠原化学株式会社	篠原 裕一

九州臨床検査薬卸連合会	
会 員 名	代表取締役
株式会社アビオス	田中 良彦
正晃株式会社	印 正俊
株式会社テクノ・スズタ	徳永 道義
株式会社宮崎温仙堂商店	神原 誠
株式会社ケミカル同仁	上野 景真
堤化学株式会社	堤 隆一郎
株式会社朝日サイエンス	一木 清
株式会社トーアサイエンス	野崎 明久
宝来メデック株式会社	寶来 豊晴
サツマ薬品株式会社	笠 邦太郎

近畿臨床検査薬卸連合会	
会 員 名	代表取締役
株式会社関薬	渡辺 和俊
不二化学薬品株式会社	中村 幸彦
八洲薬品株式会社	廣岡 祥弘
広瀬化学薬品株式会社	広瀬 亮
株式会社アテスト	向井 信次
京都和光純薬株式会社	中村 和彦
竹内化学株式会社	竹内 和彦
葵薬品株式会社	中村 佑介
株式会社上田五兵衛商店	上田 哲平
平野純薬株式会社	平野 洋一

関東甲信越臨床検査薬卸連合会	
会 員 名	代表取締役
家田化学薬品株式会社	児玉 晃典
利根化学株式会社	中澤 大
株式会社日栄東海	稲垣 静
尾崎理化学株式会社	尾崎 勲
株式会社新栄	小林 哲雄
株式会社薬研社	橋本 正利
高信化学株式会社	高橋 弘樹
中山商事株式会社	中山 大助
アズサイエンス株式会社	鈴木 孝
岡野薬品株式会社	岡野 昌彦
株式会社マルタケ	茂木 稔之